

別紙様式

令和7年度入試 普通科 推薦試験受験者用

自己PR書

*すべて志願者本人が自筆すること

フリガナ	
志願者氏名	

タブレット・パソコン・スマートフォン利用の有無を○で囲むこと

有 · 無

※印の欄は記入しないこと

英語でのスピーチの実施
の有無を○で囲むこと

有 • 無

裏面の「自己 PR の方法例」を参考にして、どのような方法で自己 PR をするのか、右の枠内に簡単に記入してください。タブレット・パソコン・スマートフォン以外の機器(器具)を用いる場合は、その機器名なども記入する。

【自己 PR の方法】

【課題】

あなたは、中学校等の生活（あるいはこれまでの人生）でどのような経験をし、何を学びましたか。特に自分の長所や得意なこと等に触れながらまとめてください。そして、そのことを高等学校での生活にどのように生かしていこうと考えていますか、具体的に記述してください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

■留意事項

- ①試験当日は、ここに記載した内容にもとづいて、自己 PR をしてください。また、自己 PR の後に、この「自己 PR 書」および自己 PR 等に関して、2～3 つの質問をします。
- ②受験会場（普通教室）で、常識の範囲内であれば道具を用いることも可能です。

[自己 PR の方法例]

- ・プレゼンテーションソフトを用いる ・模造紙を用いる ・ギターを用いる
- ・けん玉を用いる ・ダンス ・似顔絵を描く ・英語でスピーチする

- ③自己 PR の方法として、タブレット・パソコン・スマートフォンを持参し、プロジェクターへ接続して行うことも可能です。ただし、次のことに注意してください。

ア HDMI 接続となりますので、HDMI 端子付きの機器でない場合は、HDMI 変換アダプタも持参してください。

イ 作成したデータは、持参する機器本体に必ず事前に保存しておいてください。

- ④万が一、持参した機種の不具合や接続等が上手くいかない場合に備え、代わりの方法を準備しておいてください。
- ⑤この自己 PR 書をコピーしたものを持参してもかまいませんが、その内容をそのまま読んだり、暗記したりして、自己 PR を行うことのないようにしてください。
- ⑥タブレット・パソコン・スマートフォンの貸出しはありません。
- ⑦この用紙のおもて面だけを印刷したものに記入してもかまいません。